

News Release

平成 26 年 8 月 28 日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構

家具や住宅用設備による高齢者及び子供の事故の防止について（注意喚起）

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、家具や住宅用設備^{※2}による事故が平成 21 年度から平成 25 年度までの 5 年間に、合計 805 件^{※3}ありました。

被害状況別に見ると、死亡事故 1 件、重傷事故 151 件、軽傷事故 238 件、拡大被害^{※4}111 件、製品破損^{※4}292 件ほか 12 件となっています。

60 歳以上の高齢者^{※5}及び 10 歳未満の子供^{※5}に注目すると、高齢者の事故は 142 件（被害者 106 人）発生しており、子供の事故は合計 55 件（被害者 47 人）発生しています。

特に高齢者においては重篤な被害の発生割合が高く、注意が必要です。

家具や住宅用設備による事故においては、次のような事故が多く発生しています。

- 折りたたみいすを踏み台として使用したため、バランスを崩して転倒し、骨折した。
（60 歳代・重傷）
- テレビ台のキャスターのねじ締め付けが不十分だったため、キャスターが緩み、テレビ台を移動した時にバランスが崩れてテレビが落下し、破損した。（60 歳代・製品破損）
- クローゼットの折戸を開け閉めしていたところ、折戸の隙間に右手親指を入れた状態で扉が閉まったため、指が挟まれて爪が剥がれた。（3 歳未満・軽傷）

家具や住宅用設備による事故は、設計、製造又は表示等に問題がある等の「製品に起因する事故」が約半数を占めていますが、製品の事故情報や社告・リコール情報を入手することで未然に防げる事故もあります。一方、使用者の誤使用や不注意等の「製品に起因しない事故」は、重傷、軽傷などの人的被害に至る場合が多く、常日頃のメンテナンスや使用の際の注意によって未然に防げる事故が多くあります。

9 月 15 日に敬老の日を迎えるにあたり、家具や住宅設備による事故に遭いやすい高齢者や子供の事故を防ぐため、住宅内での日常的な安全管理を行う保護者の皆様に、社告・リコール情報の周知徹底も含めて、製品を正しく使用していただくため、注意喚起を行うこととしました。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

（※2）いすやテーブル、棚等の家具及びドアや手すり、浴槽等の住宅用設備を含む。ただし、介護用ベッドや介護用手すり等の介護用設備機器類等は含まない。

（※3）平成26年7月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

（※4）製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

被害状況別で、人的被害と同時に物的被害が発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。

（※5）NITE事故情報収集データベース分析上、10歳未満を子供、60歳以上を高齢者と表現している。

1. 事故の発生状況

NITEに通知された製品事故情報のうち、家具や住宅用設備による事故は、平成21年度から平成25年度までの5年間に合計805件ありました。

(1) 年度別 事故発生件数

図1に「年度別 事故発生件数」を示します。

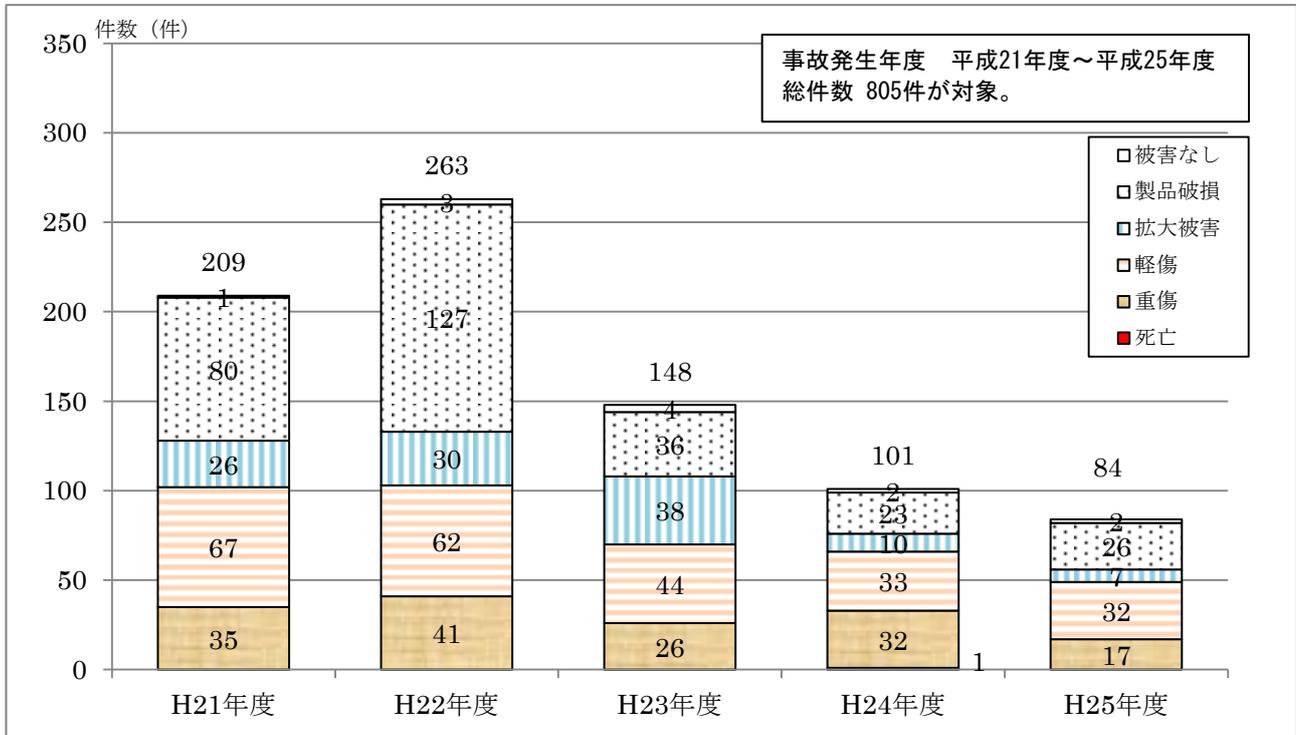


図1 年度別 事故発生件数

(2) 製品別 被害状況別 事故件数

表1に「製品別 被害状況別 事故件数」を示します。

製品別に見ると、事故件数は「机・テーブル」が最も多く213件(26.5%)、次に「いす」158件(19.6%)、「手すり」60件(7.5%)となっています。

被害状況別に見ると、家具や住宅用設備による事故においては、人的被害が390件(48.4%、401人)発生しており、このうち、死亡・重傷と言った重篤な人的被害は152件(18.9%、152人)発生しています。

表1 製品別 被害状況別 事故件数^{※6}

製品の種類	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
机・テーブル (折りたたみ、テレビ台等)			4 (4)	13 (15)	67	129		213 (19)
いす (折りたたみ、乳幼児用、浴室用等)			54 (54)	61 (61)	2	36	5	158 (115)
手すり (階段用、浴室用、トイレ用、固定金具等)			9 (9)	10 (10)		41		60 (19)
収納家具 (書棚、たんす、食器棚等)			10 (10)	27 (31)	8	13		58 (41)
踏み台 (折りたたみ、いす兼用等)			17 (17)	29 (29)	1	5		52 (46)
浴室用設備 (浴槽、シャワーヘッド、混合栓等)		1 (1)	13 (13)	29 (33)		3	1	47 (47)
ベッド (折りたたみ、二段ベッド、ロフト等)			9 (9)	19 (20)	2	14	1	45 (29)
扉 (室内用、クローゼット折戸、浴室用等)			12 (12)	16 (16)	5	8	1	42 (28)
その他 (台所設備、窓、網戸、衝立等)			23 (23)	34 (34)	26	43	4	130 (57)
合計	事故件数 被害者数	1 (1)	151 (151)	238 (249)	111 (0)	292 (0)	12 (0)	805 (401)

(※6) 平成26年7月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。

製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 使用期間別 事故件数

家具や住宅用設備による事故 805 件のうち、使用期間が判明した 724 件について、図 2 に「使用期間別 事故件数」を示します。

家具や住宅用設備による事故は、新しい家具・設備の導入など使い始めてから 1 年未満での事故が多く、全体の 36.9% (267 件) を占めています。

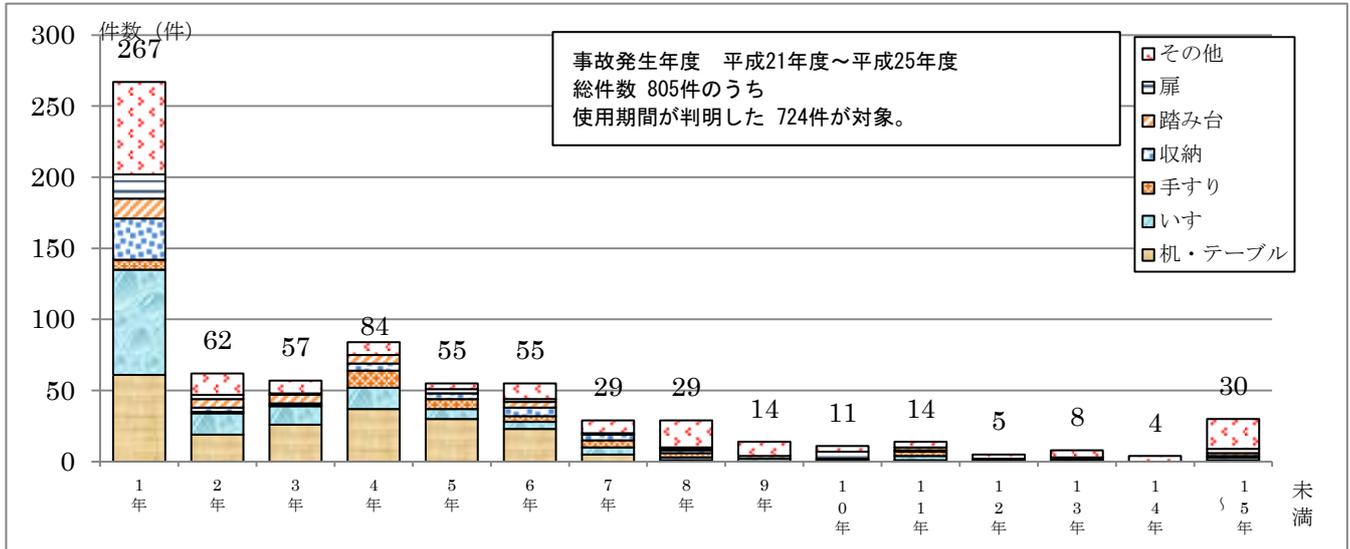


図 2 使用期間別 事故件数 (単位：件)

(4) 事故原因区分別 事故件数

① 事故原因区分別 事故件数

図 3 に「事故原因区分別 事故件数」を示します。

家具や住宅用設備による事故 805 件のうち、現在調査中の 43 件を除く 762 件について、事故原因区分 (別紙 1 参照) に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故 (事故原因区分：A、B、C、G3) は 480 件 (63.0%)
- 製品に起因しない事故 (事故原因区分：D、E、F) は 156 件 (20.4%)
- 原因不明のもの (事故原因区分 G3 を除く G) は 126 件 (16.5%)

発生しており、「製品に起因する事故」の占める割合が高くなっています。

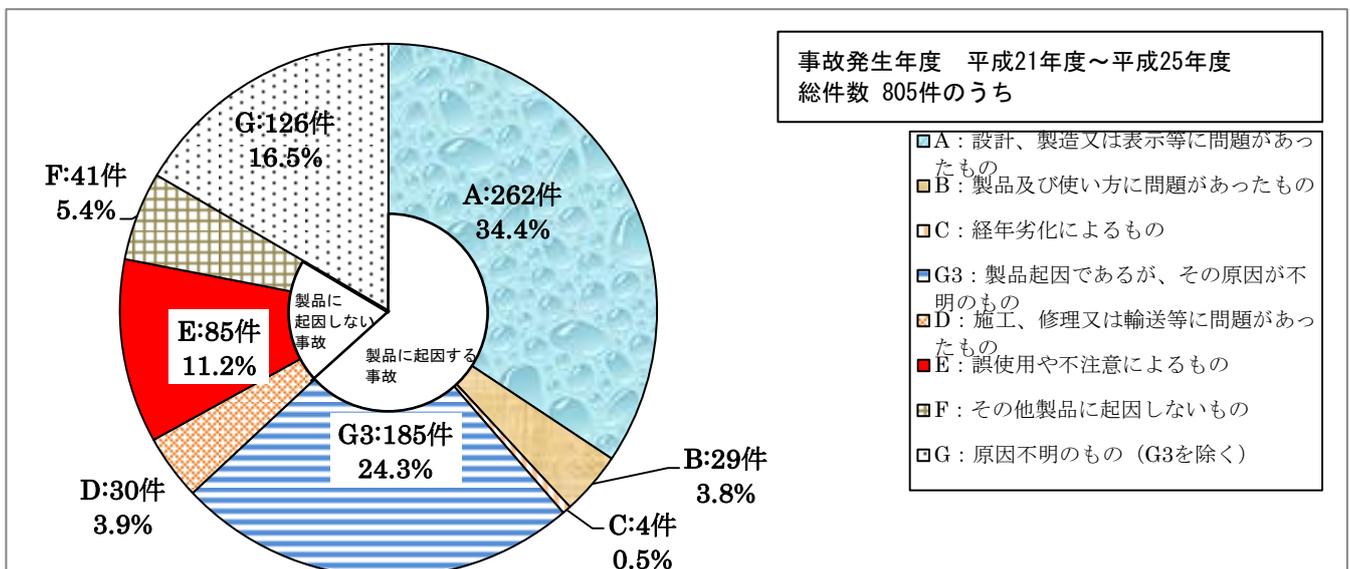


図 3 事故原因区分別 事故件数

② 事故原因区分別 被害状況別 事故件数

表2に「事故原因区分別 被害状況別 事故件数」を示します。

「製品に起因する事故（事故原因区分：A、B、C、G3）」においては人的被害が155件、物的被害が318件発生しており、物的被害の割合が高くなっています。また、「製品に起因しない事故（事故原因区分：D、E、F）」においては、人的被害が129件、物的被害が27件発生しており、人的被害の割合が高くなっています。

製品に起因しない事故のうち、「誤使用や不注意によるもの（事故原因区分：E）」において最も人的被害の発生割合が高く、72件（全体の19.7%）発生しています。

「事故原因区分：E」について、日本国内の人口比をふまえて年代別の人的被害発生比率を見ると（別紙2参照）、60歳代において最も人的被害の発生割合が高くなっています。

表2 事故原因区分別 被害状況 事故件数^{※7}

製品の種類		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A：設計、製造又は表示等に問題があったもの		35 (35)	85 (91)	26	110	6	262 (126)	
	B：製品及び使い方に問題があったもの		15 (15)	9 (9)	2	2	1	29 (24)	
	C：経年劣化によるもの		3 (3)			1		4 (3)	
	G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの		3 (3)	5 (5)	55	122		185 (8)	
小計			0 (0)	56 (56)	99 (105)	83 (0)	235 (0)	7 (0)	480 (161)
製品に起因しない事故	D：施工、修理又は輸送等に問題があったもの		8 (8)	13 (13)	2	7		30 (21)	
	E：誤使用や不注意によるもの		17 (17)	55 (55)	6	7		85 (72)	
	F：その他製品に起因しないもの		25 (25)	11 (15)	2	3		41 (40)	
小計			0 (0)	50 (50)	79 (83)	10 (0)	17 (0)	0 (0)	156 (133)
G：原因不明のもの（G3を除く）			1 (1)	20 (20)	51 (52)	16	35	3	126 (73)
H：調査中のもの				25 (25)	9 (9)	2	5	2	43 (34)
合計	事故件数 被害者数		1 (1)	151 (151)	238 (249)	111 (0)	292 (0)	12 (0)	805 (401)

（※7）平成26年7月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。（ ）は被害者数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(5) 年代別 被害状況別 被害者数

家具や住宅用設備による事故で人的被害があった 401 人のうち、被害者の年代が判明した 335 人について、図 4 に「年代別 被害状況別 被害者数」を示します。

今回の分析において注目した 60 歳以上の高齢者においては、重篤な被害に至る割合が高く、60 歳代では 49.0%、70 歳代では 56.3%、80 歳代以上では 56.5%と、ほぼ半数以上が重篤な被害に至っています。

また、10 歳未満の子供においては、10 歳代、20 歳代と比較すると 2 倍以上の高い被害者数を示しております。

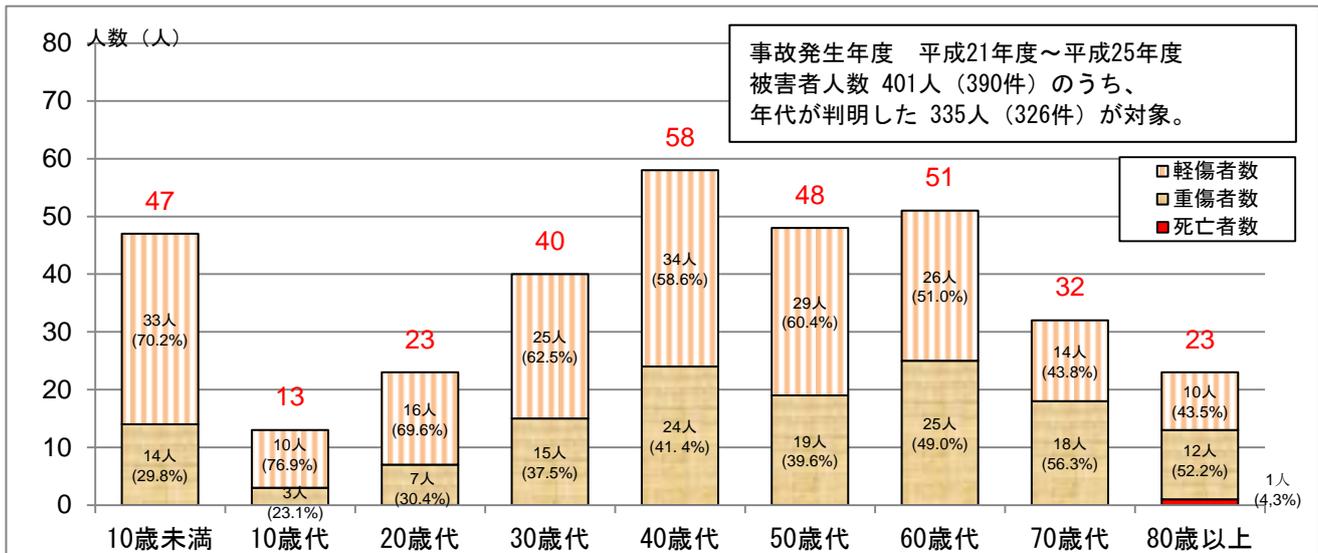


図 4 年代別 被害状況別 被害者数 (単位：人)

2. 家具及び住宅設備による高齢者及び子供の現象別被害状況及び

事件事例

NITE に報告された家具や住宅用設備による事故情報のうち、60 歳以上の高齢者と 10 歳未満の子供について、事故の現象別被害状況及び事件事例を示します。

(1) 事故の現象別被害状況

表 3 に「高齢者の現象別 被害状況」を示します。

60 歳以上の高齢者においては、踏み台やいすを使用中にバランスを崩して転倒することによる事故が最も多く、26 件(18.3%)発生しています。次いで、金具の固定取付けが不十分、ストッパー・ロックをかけていなかったため、製品が破損、転倒する事故が 13 件(9.2%)発生しています。

表 4 に「子供の現象別 被害状況」を示します。

10 歳未満の子供においては、いすや扉等の隙間に体の一部を挟みこむ事故が特に多く、14 件(25.5%)発生しています。次いで、金具の固定取付けが不十分、ストッパーやロックをかけていなかったため、製品が破損、転倒する事故が 5 件(9.1%)発生しています。

表3 高齢者の現象別 被害状況※10

現象の内容	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
事故原因区分B、G	製品の使用中にバランスを崩して転倒	0 (0)	14 (14)	10 (10)	0	1	1	26 (24)
	踏み台から転倒		7 (7)	6 (6)				13 (13)
	いすから転倒		4 (4)	3 (3)		1	1	9 (7)
	その他 (テーブル、浴室用設備等)		3 (3)	1 (1)				4 (4)
	金具の固定取付けが不十分、ストッパー・ロックをかけていない	0 (0)	7 (7)	5 (5)	0	1	0	13 (12)
	いすから転倒		1 (1)	2 (2)				3 (3)
	台所用品(吊り戸棚、扉等)が落下		1 (1)	2 (2)				3 (3)
	扉が落下		1 (1)	1 (1)				2 (2)
	その他 (手すり、収納家具等)		4 (4)			1		5 (4)
	隙間に体の一部を挟んだ	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0	0	0	2 (2)
	手すりの隙間に腕を巻き込んだ		1 (1)					1 (1)
	折りたたみいすの隙間に指を巻き込んだ		1 (1)					1 (1)
	操作を誤り、高温のお湯を出湯させた	1 (1)		1 (1)				2 (2)
	その他(長期使用による疲労破壊、異物混入によるクラック等)			4 (4)	5	5		14 (4)
	原因不明		9 (9)	10 (10)	4	10	1	34 (19)
A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの			13 (13)	13 (14)	4	3		33 (27)
H: 調査中			10 (10)	6 (6)	1		1	18 (16)
合計	事故件数 被害者数	1 (1)	55 (55)	49 (50)	14	20	3	142 (106)

(※10) 平成26年7月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表4 子供の現象別 被害状況※11

現象の内容		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
事故原因区分B、G	製品の隙間に体の一部を挟んだ		0 (0)	4 (4)	10 (10)	0	0	0	14 (14)
	いす(折りたたみいすの脚部フレーム、金属部品の間等)			2 (2)	4 (4)				6 (6)
	扉(折戸の隙間、蝶番と扉の隙間等)			1 (1)	4 (4)				5 (5)
	その他(ベッド、窓、テーブル)			1 (1)	2 (2)				3 (3)
	金具の固定取付けが不十分、ストッパー・ロックをかけていない		0 (0)	0 (0)	5 (5)	0	0	0	5 (5)
	扉が落下				2 (2)				2 (2)
	収納家具が転倒				2 (2)				2 (2)
	網戸が落下				1 (1)				1 (1)
	座らせたいすからバランスを崩して転倒			2 (2)	1 (1)				3 (3)
	その他(長期使用による劣化、修理不良による接合部破損等)			2 (2)	4 (4)				6 (6)
	原因不明			3 (3)	8 (8)		3	1	15 (11)
	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの			3 (3)	5 (5)		3		11 (8)
	H: 調査中							1	1 (0)
合計	事故件数 被害者数		0 (0)	14 (14)	33 (33)	0	6	2	55 (47)

(※11) 平成26年7月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(2) 事事故例の概要

NITE に報告された家具や住宅用設備による事故情報のうち、特に 60 歳以上の高齢者と 10 歳未満の子供において、注意が必要と思われる事例を示します。

【高齢者の事故】

① 折りたたみいすを使用中、バランスを崩して転倒

平成 21 年 9 月 17 日（東京都、60 歳代・女性、重傷）

【事故内容】

高い所にある物を取ろうとして折りたたみいすの上に乗ったところ、転倒して、重傷を負った。

【事故原因】

調査の結果、折りたたみいすの脚部には変形、破損は認められなかった。折りたたみいすを使用目的以外の踏み台として使用したため、バランスを崩して転倒し、事故に至ったものと推定される。

② キャスターのネジの締め付けが緩く、移動時にバランスが崩れて製品が破損

平成 23 年 8 月 29 日（東京都、60 歳代・男性、製品破損）

【事故内容】

テレビ台の前面キャスターが緩み、テレビが落下して壊れた。

【事故原因】

販売店がテレビ台の組立を行った際、キャスターのネジの締め付けが緩く、キャスターがぐらついていたこと、使用者が締め直しを行っていなかったことから、キャスターのネジに負担がかかりネジ山が破損、キャスターのぐらつきがさらに増した状態となっていた。

掃除のためテレビ台を移動したことにより、キャスターが破損、事故に至ったものと推定される。

【子供の事故】

① 網戸を使用中、ストッパーで固定していなかったため落下して指が

平成 22 年 2 月 16 日（広島県、10 歳未満・男性、軽傷）

【事故内容】

子供が上下に開閉する網戸で遊んでいたところ、落下した網戸に左手中指を挟み、軽傷を負った。

【事故原因】

網戸にはストッパーを含め異常がなかったことから、被害者がストッパーをかけなかったために、網戸が落下し、指を挟んだものと推定される。

② クローゼットの折戸に右手親指を挟みこんで指が

平成 21 年 5 月 5 日（神奈川県、3 歳未満・女性、軽傷）

【事故内容】

子供がクローゼットの折戸を開け閉めしていたところ、勢いよく閉まって右手親指を挟み、爪が剥がれた。

【事故原因】

クローゼットの折戸で遊んでいた際に、折戸の隙間に右手親指を入れた状態で扉が閉まったため、指が挟まれて爪を根元から剥がしたものと推定される。

3. 家具及び住宅用設備による高齢者及び子供の事故の防止

事故を未然に防ぐため、製品に添付された取扱説明書の注意事項をよく読み、正しく使用してください。不具合や故障が判明した時は、使用を中止して、お買い求めの販売店または製造事業者にご相談してください。

【高齢者の事故の防止】

(1) 折りたたみいす等、製品を目的外の用途に使用しない

折りたたみいすを踏み台代わりにする等、製品の本来の目的以外の用途には使用しないでください。

バランスを崩して転倒するおそれがあるほか、想定外の荷重がかかって製品が破損してけがを負うおそれがあります。

(2) ボルトやねじ等の固定金具が緩んだ状態で使用しない

製品の組立てに使用したボルトやねじ等の固定金具は、使用を続けるうちに緩むことがあります。

固定が不十分な状態で製品の使用を続けると、製品が破損したり転倒や転落して、けがを負うおそれがあるため、製品の使用前に固定金具に緩みがないか定期的にチェックするとともに、緩んでいる場合には、取扱説明書の指示に従い、適切な工具を用いて締めなおしてください。

(3) 踏み台を使用する時は、バランスを崩さないよう注意する

60歳以上の高齢者においては、踏み台などを使用中にバランスを崩して転倒し、けがをする事故が多く、13件(9.2%)発生しています。

20代や30代と比べて、加齢に伴い身体機能やバランス感覚が低下しているため、バランスを崩した時に上手く立て直すことができず事故に至るものと推測されます。また、けがをした場合にも重傷になる割合が高い傾向があります。

踏み台を使用する際は、以下のような注意が必要です。

- 踏み台から体を乗り出さない。
- 天板の上で移動しない。
- 踏み台の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしない。
- 体の安定が得られないような荷物を持って昇り降りしない。

【参考】

平成25年1月24日 「はしご・脚立及び除雪機の事故の防止について（注意喚起）」
<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs13012401.html>

【子供の事故の防止】**(1) 製品の使用時はストッパーやロック等で必ず固定する**

折りたたみいすやテーブル、踏み台、網戸など、製品を固定するためのストッパーやロック等がついている製品を使用する際は、必ずストッパーやロックで固定した状態で使用してください。

ストッパーやロックをかけていない状態や固定が不十分な状態で使用すると、使用中に製品が破損したり、転落や転倒してけがを負うおそれがあります。

(2) 折りたたみいす、テーブルや扉等の隙間への体の挟みこみに注意する

折りたたみいす、テーブルや扉などの隙間に指などを入れたまま開閉や移動しようとする、指などが挟まれて打撲や裂傷、切断等のけがを負うおそれがあります。

特に10歳未満の子供においては、保護者が目を離した隙に指を挟みこんでしまい、事故へと至る事例が多いため、製品を使用する際は、子供の指などが入り込んでないか確認してください。

4. 社告・リコール製品による事故

(1) 社告・リコール製品による被害状況別 事故件数

表5に「社告・リコール製品別 被害状況別 事故件数」を示します。

平成21年度から平成25年度までの5年間に発生した家具や住宅用設備による事故805件のうち、社告・リコールを行った製品による事故は合計331件ありました。このうち72件は、社告・リコール実施後に発生した事故です。

社告・リコール製品をそのまま使い続けることは大変危険なため、お使いの製品がリコール製品に該当している場合は、不具合が認識されない場合でも、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店や製造事業者に連絡してください。

過去には社告・リコール製品に該当する製品であることを知りながら使用を続け、事故に至った事例もあり、注意が必要です。

表5 社告・リコール製品による被害状況別 事故件数^{※12}

製品の種類	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
机・テーブル (折りたたみ、テレビ台等)			1	1	19	89		110
				4	38	24		66
手すり (階段用、浴室用、トイレ用、固定金具等)			(1)	(5)				(6)
			2	6		31		39
網戸			(2)	(8)				2
			(2)	(8)				(10)
収納家具 (書棚、たんす、食器棚等)						25		25
			(0)	(0)				0
いす (折りたたみ、乳幼児用、浴室用設備等)			2	10	2	9		23
			(2)	(10)				0
扉 (室内用、クローゼット折戸、浴室用設備等)			6	5		8	2	21
			2					2
その他 (ベッド、踏み台、窓等)			(8)	(5)				(13)
			3	3	3	4		13
合計			(3)	(3)				0
			8	8	4	8		28
社告・リコール実施前事故件数					4			2
					1			2
			(8)	(9)				(17)
社告・リコール実施後事故件数		0	22	33	28	174	2	259
		0	2	7	39	24		72
		(0)	(24)	(40)				(64)

(※12) 平成26年7月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(2) 社告・リコール情報の検索

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降に製造業者、販売業者等の事業者が行った社告・リコール情報を収集したデータベースを公開しており、社告・リコール情報の検索を行うことができます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE」、「リコール」等の単語で検索してください。

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 大福 敏彦
担当者 長田、池谷、西澤

- 記者説明会当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280

以上

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品起因であるが、その原因が不明のもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	原因不明
	H	調査中のもの	調査中のもの

事故原因区分Eにおける人的被害発生比率

使用者の「誤使用や不注意による事故（事故原因区分E）」について、平成26年1月1日時点の人口推計^{※1}をふまえた年代別被害発生比率^{※2}を、図「日本国内人口における被害発生比率」に示します。

60歳代においては、事故の発生率が40歳代の約1.4倍と最も高くなっています。これは、加齢に伴い運動機能やバランス感覚が低下して、事故に至る割合が高くなったものと推測されます。

また、70歳代以上においても60歳代よりは少ないものの、30～50代と同程度の割合で事故が発生しています。

高齢者においては、「1.（5）年代別 被害状況別 被害者数」に示してあるとおり、他の年代と比べて重篤な被害に至る割合が高いため、注意が必要です。

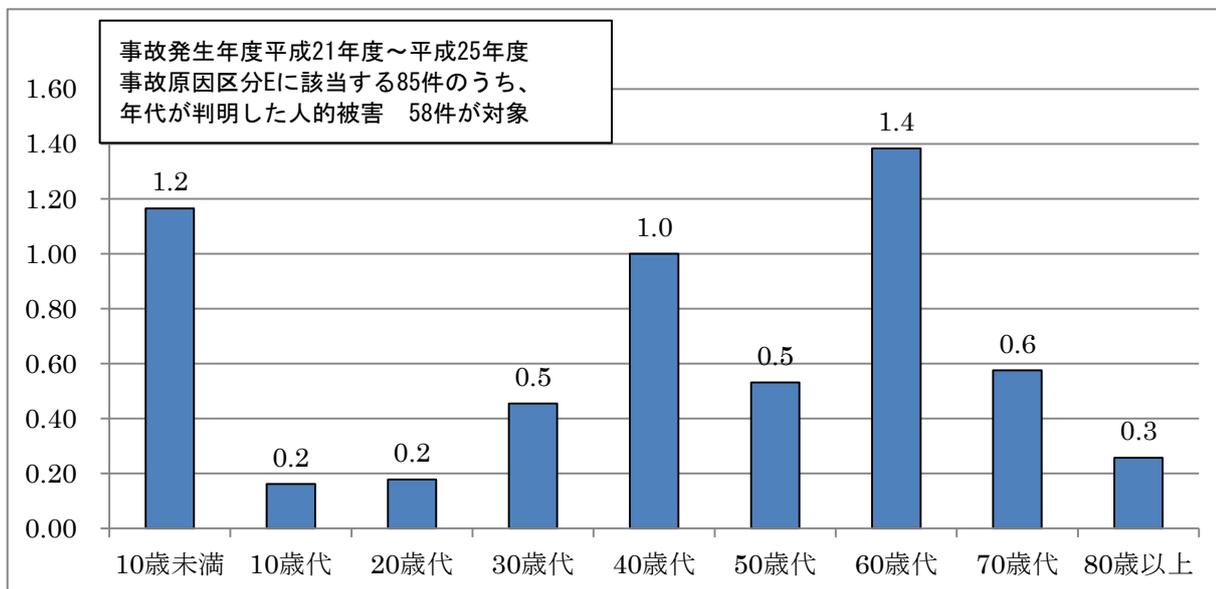


図 日本国内人口における人的被害発生比率（単位:倍）

(※1) 出典：総務省統計局「人口推計平成26年6月報」

(※2) 40歳代の被害発生率を1として各年代の被害発生比率を算出。

NITE ホームページで公開している社告・リコール情報のうち、平成 21 年度から平成 25 年度の間 NITE に通知された社告・リコール製品による事故情報が 2 件以上寄せられているものについて、以下の表に示します。

表 社告・リコール一覧

公表日	品名	事業者名	概要
2012/06/15	クローゼットハンガー	株式会社ニッセン	<p>【製品名及び型式】 クローゼットハンガー（引き戸） 管理番号 1389-7231-111・112・113・114（白） 1389-7231-211・212・213・124（グレー） 1415-4651-111・112・113・114（ナチュラル） 1450-9201-111・112（ダークブラウン）</p> <p>【URL】 http://www.nissen.co.jp/oshirase/oshirase_120615.htm</p>
2012/04/16	室内用手すり金具	株式会社ウッドワン	<p>【製品名及び型式】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 製品名：木製可変自在エルボー 種類：ジュピーノ・ピノアース 品番：TB-5323/色：ゴールド、TB-6323/色：シルバー 種類：タモ 品番：TB-5335・色：ゴールド、TB-6335・色：シルバー 種類：チェルード 品番：TB-5336・色：ゴールド、TB-6336・色：シルバー • 製品名：木製エンドエルボー 種類：ジュピーノ・ピノアース 品番：TB-5359/色：ゴールド、TB-6359/色：シルバー 種類：タモ 品番：TB-5337・色：ゴールド、TB-6337・色：シルバー 種類：チェルード 品番：TB-5338・色：ゴールド、TB-6338・色：シルバー <p>【URL】 http://www.woodone.co.jp/osirase/20120416_tesuri.html</p>
2012/03/16	手すり用固定金具	榎本金属株式会社	<p>【製品名及び型式】 機種：手摺受け金具（階段、廊下、玄関使用）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 品番：YS35-S 色：ブロンズ/ゴールド/シルバー ② 品番：YS35-w 色：ブロンズ/ゴールド/シルバー ③ 品番：YS35-NS 色：ブロンズ/ゴールド/シルバー <p>【URL】 http://www.enomotohardware.co.jp/pages/index.html</p>
2012/01/05	手すり用金具（脱着タイプ）	住友林業クレスト株式会社	<p>【製品名及び型式】 色：シルバー、ゴールド</p> <p>プラケット水平用：YM70S-B1/YM70G-B1 プラケット水平用（首振り）：YM70S-B2/YM70G-B2 プラケット垂直用：YM70S-B3/YM70G-B3</p> <p>【URL】 http://www.sumirin-crest.co.jp/infomation/pdf/2012-01-05.pdf</p>

公表日	品名	事業者名	概要
2011/12/09	玄関ドア	YKKAP 株式会社	<p>【製品名及び型式】 玄関ドア デュガード TypeM・TypeS、ラフィール TypeS ・デュガード TypeM [3111] ・デュガード TypeS [3212] ・ラフィール TypeS [4111] 【URL】 http://www.ykkap.co.jp/cominfo/20111209.asp</p>
2011/10/11	いす	住友林業クレスト株式会社	<p>【製品名及び型式】 トーヨーファニチュア ダイニングチェア プレッサ 対象製品型番： CK0831BK-CM (黒) / CK0831IV-CM (白) サイズ： W600×D590×H740 【URL】 http://www.sumirin-crest.co.jp/infomation/pdf/cheat.pdf</p>
2011/07/27	住宅用サッシ 上げ下げ窓用 網戸	株式会社 LIXIL (旧新日軽株式会社)	<p>【製品名及び型式】 製品シリーズ (参考) : アルプラ 70/アルプラ 70MS/フォーメルト 70 アルプラクラス K3/アルプラクラス K4/アリッツ SG・PG ※ 上記製品シリーズの上げ下げ窓の横方向の寸法： 55cm 以上が対象 製品シリーズ (参考) : アルプラクラス K3/アルプラクラス K4/アリッツ SG・PG ※ 上記製品シリーズの上げ下げ窓の横方向の寸法： 70cm 以上が対象 製品シリーズ (参考) : フォルティア (オール樹脂サッシ) 上記製品シリーズの上げ下げ窓の横方向の寸法： 55cm 以上が対象 【URL】 http://shinnikkei.lixil.co.jp/info/20110727.html</p>
2011/07/01	ソファクッション	株式会社藤栄	<p>【製品名及び型式】 アグラ ソファクッション/ピンク・グリーン・ブルー 【問い合わせ先】 電話番号 03-3723-6525 (受付時間 09:30~18:00 (平日のみ))</p>
2010/07/02	いす	國新産業株式会社	<p>【製品名及び型式】 バランス 4.25 (balans. 4.25) 製造番号： 081117~100228 【URL】 http://balans.jp/kokushin.pdf</p>
2011/02/17	テレビ台 (ガラス製)	株式会社山善	<p>【製品名及び型式】 ① SGV-80JT (SL)/サイズ： 800 mm*400 mm*450 mm ② SGV-100JT (SL)/サイズ： 1,000 mm*400 mm*450 mm 【URL】 http://www.yamazen.co.jp/japanese/csr/quality03/important/list/node_5117</p>
2011/02/16	テレビ台 (ガラス製)	株式会社ジャパネットたかた	<p>【製品名及び型式】 ③ SGV-80JT (SL)/サイズ： 800 mm*400 mm*450 mm ④ SGV-100JT (SL)/サイズ： 1,000 mm*400 mm*450 mm ⑤ TVS80/サイズ： 800 mm*400 mm*440 mm ⑥ TVS100/サイズ： 1,000 mm*400 mm*440 mm 【URL】 http://www.japanet.co.jp/shopping/support/info15.html</p>